

体協スポーツニュース

平成27年
8月号
Vol. 18

復興支援の風 再び塩竈の地に

パナソニック2015復興支援スポーツ交流会in塩竈

平成二十七年七月四日、塩釜ガス体育館第一競技場にて「パナソニック2015復興支援スポーツ交流会in塩竈」が開催されました。当日は小学生や保護者・選手も含めて約一五〇名が第一競技場に集結。受付で渡された、お揃いの青いTシャツに着替えてバレーボールやラグビーを体験しました。

子どもと触れ合い 笑顔を収穫



キャプテンの白澤健児選手を筆頭に、来て頂いた全員の身長が一九〇cm越えの「パナソニック・パンサーズ」の皆さん。隣に立つと、まさに、そり立つ壁のようです。なんでも、一m近くジャンプするとか…。

デモンストレーションでは実際に、スパイクを見せて頂きましたが、そのボールの速いこと。プロスポーツ選手の凄さを感じました。

また、昨年も来て頂いた「パナソニック・ワールドナイツ」は、第五十一回日本ラグビーフットボール選手権大会・優勝を引っさげての塩竈入りです。

競技の楽しさを実感

第一部の「笑顔の部」ではバレーボールとラグビーに触れ合いました。

ラグビーの醍醐味と問われて思いつくのは楕円形のボールを持つて疾走すること、それを阻止しようとタックルをする。ことではないでしょうか？

今回は実際にボールを持った子ども達が、選手に向かって体当たりをしました。

選手が持っているタックルバックめがけて、子ども達が走るのですが、なかなかの体当たりっぷりを



山本隆弘選手

見せてくれました。また一列に並び、足の間から、後ろの人へボールをパスをする練習をしました。普段、触ることのない形のボールは手につかず、あちこちに行ってしまうので、キャッチがなかなかできません。ボールが転がるたびに、競技場内に笑い声が響きわたりました。

バレーボールでは、ボールを上へ投げてキャッチすることから始まりました。これは、ボールが来たら真下に入り、受ける為の練習です。飲み込みが早いのは子どもだからでしょうか？初めはキャッチできなかった子どもも、あつという間にクリアしてしまいました。

その後、選手にトスを上げてもらい、アタック

も体験しましたが、子ども達の顔は、イキイキして、とても輝いて見えました。バレーボールとラグビーを楽しんだ後、その余韻に浸りながら始まったのは第二部の「未来の部」。

ここでは、なんと！二〇〇八年北京オリンピックの代表を経験した山本隆弘さんがMCをしてくださいました。

自身の経験を語りながら、他のメンバーにもマイクを向ける、MCとしての才能をフルに発揮してくれました。

そして昨年に引き続き今年も来てくれた「アベチヤン」こと…

イベントを支える男たち

ピザ作り

その日、熱気で盛り上がったのは競技場だけではなく、体育館の正面玄関でもイベントを成功させるべく格闘している男達がいいた。

第三部「絆の部」では参加者全員がピザ焼き体験をする。スムーズに焼くには、石釜の中を充分に暖めておかなければならない。



石窯を担当している彼らは、早いうちから火を熾し、釜の中の温度を上げ、絆の部が始まれば炎で顔がジリジリと焼けるのも顧みず、参加者のピザを焼きあげていた。「縁の下の力持ち」というように、彼らがこのイベントを支えていると言っても過言ではないだろう。



阿部浩士選手

阿部浩士選手(石巻出身)。体は子どもの倍以上もあり一見怖そうですが、実は気は優しく力持ち。第一部「笑顔の部」の時間も、子ども達は臆することなく、とても楽しそうにしていました。

今年も大盛況のうち無事終了しましたので、来年以降も是非来て頂きたいです。

おらほの☆お元気さん



鈴木 秋子さん (80歳)
バウンドテニス歴 約22年

今から約二十二年前、新聞にバウン
ドテニスのメンバー募集が掲載されま
して、高校の頃にテニスを少しかして
いたことと、体育館が家の近くにあっ
たことが、始める決め手になりました。
家にいるばかりでは気持ちも鬱々してき
ますから、リフレッシュする為にも、適度
に運動できるバウンドテニスはおススメで
すし、これ始めてから怪我一つしてませ
ん。また、皆で持ちよった漬物などを食べ
ながら休憩するのも楽しみの一つです。女
性ですから、十五分だけの休憩が、
ついオーバーして二十分になったり
二十五分になったり(笑)。
お勤めで忙しい方にも、無理をせず、
暇を見て、気軽に来てもらいたい
ですね。



サークル名：バウンドテニス愛好会
会員数 12名
場 所：塩釜ガス体育館
第二競技場
活動日時：月3回 日曜日
10:00~12:00
問合せ先：022-364-3626(鈴木)

ただいま会員募集中♪

ご存知ですか？

～熱中症の予防と対策～

最近、テレビ等でよく見聞きするようになった「熱中症」。熱中症は、夏の強い日射しの下で激しい運動や作業をする時だけではなく、身体が暑さに慣れない時期や高温多湿の室内で過ごしている時にも起こります。症状が深刻なときは命に関わる事もありますが、正しい知識があれば予防することができます。自分でできる熱中症対策を心掛けましょう。

熱中症とは…暑さの中で起こる障害(熱けいれん・熱疲労・熱射病など)の総称です。

「熱中症を引き起こす条件」

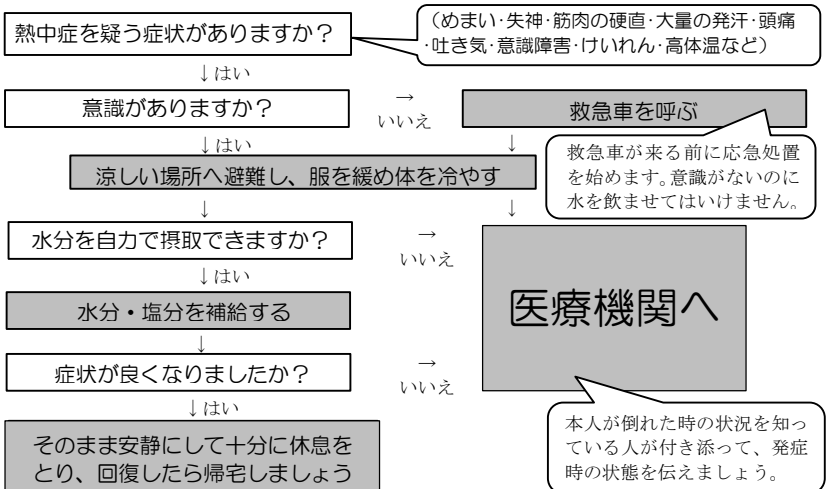
環境	からだ	行動
<ul style="list-style-type: none"> ・気温や湿度の高さ ・風が弱い ・日差しが強い ・閉め切った室内 ・エアコンがない ・急に暑くなった日 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、乳幼児、肥満 ・持病(糖尿病、心臓病など) ・低栄養状態 ・脱水状態(下痢など) ・体調不良 (二日酔い、寝不足など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・激しい運動 ・慣れない運動 ・長時間の屋外作業 ・水分補給がしにくい

「熱中症は予防できる」

- 1・環境条件を把握し、それに応じた運動、水分補給を行いましょう
- 2・暑さに徐々に慣らしていきましょう
- 3・個人の条件や体調を考慮しましょう
- 4・服装に気を付けましょう
- 5・具合が悪くなった場合は早めに必要な処置をしましょう

「もし熱中症になってしまったら・・・」

あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら、落ち着いて状況を確認して対処しましょう。



年に一度の真剣勝負！

2015 ユープルリレーフェスティバル参加者募集

今年もやってきました、この季節！！

皆さん、チームを組んでリレーに参加してみませんか？

日時：平成 27 年 9 月 27 日(日)

対象者：3 歳以上で参加種目が完泳できる方

参加費：1 種目につき 2,000 円

種 目：100m フリーリレー・メドレーリレー

200m フリーリレー・メドレーリレー

親子対抗・3 世代対抗フリーリレー



お問合せは 塩竈市温水プールまで 022-363-4501

広報委員会こぼれ話

広報委員会の打合せでは、そのスポーツをしている人にしか分らないトリビアが飛び出すことがあります。今回は弓道のオモシロ話が聞けましたので紹介します。

和弓の弦の材料に昔から使われていたのが麻です。しかし、麻は大麻の原料になることから、栽培は法律により規制されています。

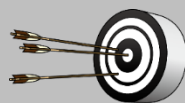
その為、とても貴重なものになっています。また、麻の弦を作るには非常に高度な技術が必要なので、とても値が張ります。

尚且つ、扱いにも気を使わなくてはならないそうです。

さて、弓道には近的と遠的という2種目があります。近的の射距離が 28m に対して遠的は 60m と約2倍の距離。60mは大体15階建てビルの高さぐらいです。

矢は山なりに打つと風にあおられてしまいます。

弓の大きさや強さでも飛び方は変わりますが、大体45度までが最適な角度なのだそうです。弓道のオモシロ話は、いかがでしたか？



暑い夏がやって来ましたが、外と中の温度差に体をおかしくしてしまいがちです。皆さん、熱中症対策は万全ですか？
麦茶や水ばかりでなく、適度に塩分も取りましょう。特に大会を控えている中学生諸君、体調管理を充分注意し、練習してくださいね。

編集後記

編集・発行

特定非営利活動法人 塩釜市体育協会

塩釜市温水プール(ユープル)内

住所 〒985-0006 宮城県塩釜市字杉の入裏 39-173

電話 022-363-4501 FAX 022-366-0281

E-MAIL pool@np-shiogama-taikyo.or.jp

URL http://www.npo-shiogama-taikyo.or.jp/

